

まちの話題

ISA City Topics

いさドラゴンカップ2015



5月3日、湯之尾滝上流の伊佐市菱刈カヌー競技場で「いさドラゴンカップ2015」が開催されました。悪天候にもかかわらず、市内外の小学生から九州チャンピオンまで、過去最多87チームの参加となりました。毎年常連のベテランチームや、慣れない手つきで必死にパドルを漕ぐチームなど、それぞれが心をひとつに、250m先のゴールをめざしました。緊張感もさることながら、和気あいあいの雰囲気の中、白熱したレースが繰り広げられました。

ドラゴンカップと同日、鹿児島のアートトラック愛好者で結成した「龍桜船団」主催で、電飾をほどこした150台のアートトラックが集結。

昼は、ステージショーやバザーオークションなどで賑わい、夜は装飾したトラックが一齐に点灯し訪れた人を魅了しました。イベントで集まった募金は伊佐市子ども発達支援センター「たんぼぼ」に寄付されました。

アートトラックチャリティ撮影会（表紙）



車いす寄贈



4月22日、始良伊佐電機工事業協同組合青年部が「地元へ貢献したい」と車いす1台を寄贈してくださいました。

車いすは、市役所大口庁舎の市民課に設置し活用させていただきます。

ありがとうございました。

清掃ボランティア



大口小木原にあるグラウンド周辺を(株)富士建設の皆さんがボランティアで清掃をしてくださいました。

毎年この時期、除草作業とガードレールの清掃をされています。

ありがとうございました。

人権の花運動



湯之尾小学校は、市が指定する平成 27 年度「人権の花運動」の指定校に選ばれ、5 月 15 日に開会式を行いました。

この運動は、ひまわりを学校全体で育てながら、「命を大切にする思い」「みんなで協力しあう習慣」「相手を思いやる心」などを学ぶ運動です。

ひまわりの太陽に向かって伸びる姿がイメージに合うことから「人権の花」としています。

式では、児童の代表らが「みんなで思いやりをもって助け合い、いじめや差別のない学校をめざします。」と宣誓しました。

「民泊の家」 伊佐ツーリズム協議会



4 月 15 日、体験型教育旅行などの受け入れを行う伊佐ツーリズム協議会の安全対策講習会がありました。

食品の衛生管理や救急医療等について講習を受けたあと、受け入れ家庭であることを証明する「民泊の家」と書かれた看板が手渡されました。

この看板は、同協議会が大口高校に依頼し、同校の書道部が書いたもので、各家庭それぞれに個性的な看板ができあがりました。

伊藤知事と語る会



知事自らが県民と直接対話する「知事と語る会」の一環として 5 月 8 日、地域のさまざまな分野で活躍するリーダーと意見交換を行う「地域リーダーと語る会」が、伊佐市で開催されました。

農業、観光、まちづくりなど各分野の現状や課題等について率直な意見を出し合い、2 部の交流会でも会食をしながら、和やかな雰囲気の中で地域の未来を語りました。

また、語る会に先立ち知事は、市内の企業や伊佐農林高校、2020 年鹿児島国体のカヌー競技場になる湯之尾などを視察されました。

針持「ランニングパトロール隊」



4 月 26 日、トレーニングしながら地域の安全安心を見守る「ランニングパトロール隊」の出発式がありました。

同隊は「針持走ろう会」を主体に、ジョギングやウォーキングを楽しむ地域住民らで構成されており、児童生徒の登下校や高齢者の安全確保に努めます。

出発式で伊佐警察署の西迫署長から、反射たすきと激励の言葉を受けたランニングパトロール隊は、地域住民らに見送られ颯爽と駆け出して行きました。

新人自衛官「表敬訪問」



伊佐市出身で大口高校卒業生の新人自衛官4人が隈元市長を表敬訪問し、「福祉に役立てください」と初任給から寄付をしました。

今年度の新人自衛官は次のとおりです。
写真左から〈敬称略〉：中一龍（前目麓） 有蘭祐二（元町実業） 山口純貴（並木） 橋田聖尉（奈良野）

◆来年度の自衛官募集に関する記事を、21頁に掲載しています。

歴史を学ぶ教育旅行



5月12日から3日間、田中・本城小の6年生が学童疎開の縁で姉妹都市盟約を結んでいる西之表市を教育旅行で訪れました。

台風6号接近で船の欠航が心配されましたが、乗船する便を早めるなどしてなんとか西之表港に到着。両校はそれぞれ、交流先である伊関小学校と住吉小学校を訪れ、合同給食やレクリエーションなどで交流を深めました。

また児童らは、自分たちと同じ年頃で親元を離れ疎開を経験した先輩の寂しさや苦労などの体験談を聞き、平和の大切さを学びました。

「動く防犯カメラ」



5月13日、伊佐地区防犯協会は伊佐警察署長を立会人として「ドライブレコーダーの活用による安全安心なまちづくりに関する覚書」の調印式を行いました。

同協会は昨年10月に無線通信機製造販売のユピテル（安楽憲彦社長：伊佐市出身）から無償提供されたドライブレコーダー15台のうち9台を、大口病院（3台）、菱刈鉱山・大口酒造・第一相互警備保障（各2台）に贈り、事件・事故、不審者など記録する「動く防犯カメラ」として犯罪抑止への協力をお願いしました。

市の公用車120台や民間タクシー会社などが所有するものと合すると、市内を約150台の「動く防犯カメラ」が見守っています。

世界 1/500 「曾木発電所遺構」



4月29日、3D技術を用いて世界各地の文化遺産のデジタル文書化に取り組んでいる非営利法人CyArk（サイアーク）が、一般財団法人産業遺産国民会議の提案を受け、曾木発電所遺構の測量調査を行いました。

アメリカに事務局があるサイアークは、自然災害、人類の手による破壊、時の経過による崩壊等の危機にさらされている世界の文化遺産を対象に、最先端の3D技術で記録・公開しており、次世代に継承する文化遺産500の一つに曾木発電所遺構を選びました。

調査結果は、今夏以降にインターネットで公開される予定です。